

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	生活支援課
課名	社会福祉課

予算	款	項	目	決算書
	3	3	1	112 頁

目名
児童福祉総務費

事務事業名称
放課後児童健全育成事業

1. 概要

目的	昼間保護者のいない小学校低学年児童等の健全育成	対象	昼間保護者のいない小学校低学年の児童
事業概要	<p>○放課後子どもプラン推進事業（放課後児童健全育成対策事業） 昼間保護者のいない小学校低学年の児童に対し、放課後や長期休みに適切な遊びや生活の場を提供、健全な育成を図った</p> <p>①直営放課後児童クラブ3箇所（清川放課後児童クラブ、たけのこクラブ、千歳放課後児童クラブ） ②委託放課後児童クラブ8箇所（いずみヶ丘児童クラブ、菅尾児童クラブ、三重東児童クラブ、百枝児童クラブ、新田児童クラブ おがたっこはうす、朝地放課後児童クラブ、犬飼放課後児童クラブ）</p>		

臨／経	事業名	事業内容（主な経費等）	予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	放課後子どもプラン推進事業（放課後児童健全育成対策事業）	放課後児童の保育 登録児童数：319人 委託料	33,108	32,817	18,819		46	13,952	3
計			33,108	32,817	18,819	0	46	13,952	

2. 指標設定

成果指標	指標名	受け入れ体制の充実		目標年度	指標の設定理由				
	数値	11ヶ所			H26	豊後大野市キラキラこどもプランに目標として設定されているため			
活動指標	指標	a	情報の発信	b	職員研修の推進	c	民間委託	d	補助金の見直し
	数値	目標	—	目標	年2回	目標	8ヶ所	目標	—

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
受け入れ体制の充実	ヶ所	10 ヶ所	10 ヶ所	11.0 ヶ所
		90.9 %	90.9 %	100.0 %

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 情報の発信		—	—	—
b 職員研修の推進	回	2 回	2 回	2 回
		100 %	100 %	100 %
c 民間委託	ヶ所	7 ヶ所	7 ヶ所	8 ヶ所
		87.5 %	87.5 %	100.0 %
d 補助金の見直し	千円	17,266 千円	17,065 千円	18,819 千円
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
市内全小学校区内にクラブの設置はできたが、一部公立幼稚園と併用、若しくは休園中の幼稚園で運営しているため、幼稚園の動向によっては、運営場所を変更しなければならない。
対応（改善点等）
教育委員会及び児童クラブ実施主体と協議し、対応する。なお、あらたにクラブについては、教育委員会と協議のうえ、H24年度は、幼稚園と併用することで、対応を図った。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

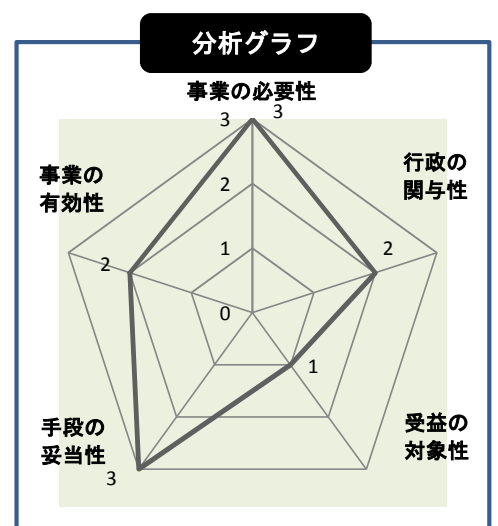
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		29,275	31,004	32,817	34,745
うち経常経費		29,275	31,004	32,817	34,745
財源内訳	国費				
	県費	17,266	17,065	18,819	19,242
	市債				
	その他			46	
	一般財源	12,009	13,939	13,952	15,503
うち経常		12,009	13,939	13,952	15,503
事業費に係る人件費		1,280	1,314	1,290	1,718

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
全ての小学校区に設置したことから、今後は現状を維持する。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 県の補助事業であり、引き続き現行制度で推移していくと思われる
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間によるサービスの供給が可能であり検討の必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 小学校低学年の児童に限られているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 児童の健全育成を図る上で、活動指標は適切である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 目標に対する達成率は高く、有効性は高いと判断できる



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	利用者ニーズを踏まえ、ボランティア等の活動を視野に入れた事業実施を検討すること